



TECHNOLOGY STARTUPS:
**QUARTERLY UPDATE ON LEGAL AND
REGULATORY DEVELOPMENTS**

TECHNOLOGY STARTUPS: QUARTERLY UPDATE ON LEGAL AND REGULATORY DEVELOPMENTS**A. UPDATE ON THE OTT PLATFORM (OTT プラットフォームに関するアップデート)**

オーバー・ザ・トップ (OTT) プラットフォームおよびデジタルニュース・プラットフォームは、ここ数年で、メディア・エンターテインメント業界の地位を確固たるものにしました。インド政府は、オンライン・メディア・プラットフォーム、OTT での映画の公開、オーディオ・ビジュアル・プログラムを含むデジタル・コンテンツを、情報放送省の領域に含める旨の通達を発表し、話題を読んでいます。

2020 年 11 月 9 日に発表された通達では、1961 年インド政府業務分担規則 (the Government of India (Allocation of Business) Rules 1961) 第 2 附則 22A および 22B に対して、以下の改正が行われています。

1. オンライン・コンテンツ・プロバイダーが提供する映画及びオーディオ・ビジュアル・プログラム
2. オンライン・プラットフォームでのニュースや時事問題

シンガポール、イギリス、アメリカ、オーストラリア等の世界各国の政府においては、既にオンライン・デジタル・プラットフォームに関する規制が整備済であるか、またはその設立過程にあります。インドでは、これらのプラットフォームを監督するための法律や規則等はありませんでした。今回の通達により、情報放送省がインドのオンライン・デジタル・プラットフォームに対して各種規制を課すことができるようになります。デジタル・プラットフォームに対して、インド政府がどのように、どの程度の範囲まで規制を課すことになるのか、今後の動向が注目されます。

詳細は[こちら](#)。

B. UPDATE ON THE MOTOR VEHICLE AGGREGATOR GUIDELINES 2020 (2020 年自動車アグリゲーターガイドラインについてのアップデート)

2020 年 11 月 27 日、道路交通省は、「2020 年自動車アグリゲーターガイドライン」 (Motor Vehicle

Aggregator Guidelines, 2020) を発表しました。本ガイドラインは、自動車アグリゲーターに対してライセンスを発行する際に考慮すべき各州政府の指針となる枠組みとして、および、アグリゲーターが行う事業に対する規制の枠組みとして運用されることが期待されています。ガイドラインにおけるアグリゲーターの定義は、「移動を目的とする乗客とドライバーを繋ぐ、デジタル仲介者/プラットフォーム」となっています。

ガイドラインの主な規定は、大きく分けて、(i) アグリゲーターへのライセンスの付与・更新に関する条件、(ii) ドライバー・車両・アプリ・ウェブサイトにおける遵守事項、(iii) 運賃・手数料に関する規制、となっています。加えて、アグリゲーターへのライセンスの停止・取消に関する条件等についても規定されています。

ガイドラインにおいて、アグリゲーターは、(i) アプリの使用方法・車両の運転およびメンテナンス・ドライバーとアグリゲーター間の契約条件・ジェンダー感化・女性や幼児の安全性等についての研修プログラムのドライバーへの実施（もしくは適切な第三者への委託）、(ii) ドライバーへの最大 50 万ルピーの健康保険および 100 万ルピーの定期保険の加入、(iii) 基本料金の値下げ率および値上げ率は 50%以内、(iv) 1 回の乗車につき運賃の 80%をドライバーに支給すること、等が義務付けられています。

また、ガイドラインは、アグリゲーターが所有する車両が所有していない車両と同等に扱われ、州政府に禁止されていない限り、非交通車両のプーリングの提供を確保しなければならない旨、規定しています。

詳細は[こちら](#)。

C. DRAFT GUIDING PRINCIPLES FOR ONLINE FANTASY SPORTS PLATFORM IN INDIA (インドのオンライン・ファンタジー・スポーツ・プラットフォームについてのガイドライン草案)

NITI 委員会 (NITI Aayog) は、インドがオンライン・ファンタジー・スポーツにおける世界での地位を確保するための展望および可能性について明確にするため、2020 年 12 月に、オンライン・ファンタジー・スポーツ・プラットフォームの国家レベルにおける統一的規制に向けたガイドラインに関するディスカッション・ペーパーを発表しました。本ディスカッション・ペーパーでは、オンライン・ファンタジー・スポーツ・プラットフォームが州法の違いにより直面している問題点について認識すると共に、関係者からの提言に基づき、プラットフォームの指針となるようなガイドラインの草案が提案されています。





原案では、運営者はすべての適用法を遵守しなければならない、ゲームは基本的にスキル優位であることが要求される、とされています。また、スキルをベースとした有料のコンテスト形式の場合、運営者は事前に承認を得ることが必要となります。スキル優位形式であることを証明するため、運営者は、プレイヤーのパフォーマンスを追跡するための統計データを保持し、自主規制機関に提出することが求められます。加えて、運営者には、(a) コンテストは一般的に現実世界における公認のものであること、(b) 未成年者の参加を防ぐための必要な保護措置が講じられていること、(c) 違法な目的でのプラットフォームの使用を禁止し、防止するための標準的な方針が組み込まれていること、(d) 広告やプロモーションイベントがインドの広告基準審議会のガイドラインに従っていること、(e) ユーザーからの苦情に対処するための適切なメカニズムが構築されていること、等が求められます。広告やプロモーションイベントについて、運営者は、2020年12月15日より施行されているオンラインゲームに関する ASCI ガイドラインを含むインドの広告基準審議会のガイドライン (the guidelines of Advertising Standards Council (“ASCI”) of India) に従うことになります。

原案においては、プラットフォームの導入および運営と監督を行う自主規制組織の設置が提案されています。自主規制機関は、評価委員会を設置し、プラットフォーム上で提案されたコンテストがスキル優勢であるかどうかについて確認を行います。さらに、州政府に対して、オンライン・ファンタジー・スポーツ・プラットフォームに関する検討要請を行います。

詳細は[こちら](#)。

D. (アグリゲーターへの社会保障規制の導入)

インド政府は、2020年9月28日、社会保障に関する既存の労働法を統合することを提案する「2020年社会保障法典 (Code on Social Security, 2020)」を発表しました。法典では、ギグワーカー、プラットフォームワーカー、アグリゲーターなどの新しい概念が導入されており、対象となるアグリゲーターの分類のための網羅的なリストも含まれています。法の規定に則り、中央政府はギグワーカーやプラット

フォームワーカーのために必要な社会保障制度を導入することができます。導入された場合、その全額または一部について、アグリゲーターが負担することになります。

アグリゲーターは、当該法典に加え、上述した「自動車アグリゲーターガイドライン 2020」で規定されている社会保障に関連する規制を別途遵守する必要があります。健康保険および定期保険の加入とは別に、ドライバーが1日に12時間を超えてログインしないようにすること、12時間のシフト毎に10時間の強制休憩を設けること、ドライバーが複数のアグリゲーターを利用できるようにすること、等も求められています。

詳細は[こちら](#)。



Disclaimer: The information contained in this document is not legal advice or legal opinion. The contents recorded in the said document are for informational purposes only and should not be used for commercial purposes. AL Consulting disclaims all liability to any person for any loss or damages caused by errors or omissions, whether arising from negligence, accident or any other cause. la